

沿岸さば漁況予報（確定報）

～ 2018年の相模湾～東京湾のマサバ漁況について ～

■ 2018年漁期の見込み

（1）来遊量と漁獲量

前年、平年を上回る

（2）魚体

尾叉長 29～32cm（体重 280～390g）が主体となる



■ 予測の根拠

（1）来遊量と漁獲量

本予報では、①当年6月の伊豆大島周辺の塩分（平年並でした）、②当年5月の伊豆半島東岸定置網のマサバ漁獲量（平年を上回りました）、③当年8月の東京湾の水温（平年並でした）のデータを用いて、さば釣り漁船1日1隻あたりのマサバ漁獲量を推定しました。その結果、2018年のマサバ漁獲量（1日1隻あたり）は、前年および平年を上回ると見込まれました。

ただし、本年の②5月の伊豆半島東岸定置網のマサバ漁獲量が前年の約10倍と極端に大きい値であったため、予測は前年、平年を上回る結果になりましたが、実際は予測を下回る可能性があります。

※漁獲量が前年(平年)比20%以上増は「上回る」、±20%の範囲内は「並」、20%以上減は「下回る」と表記し、過去18年間（2000～2017年）の平均を「平年」としています。

（2）魚体

3～6月に伊豆諸島周辺で産卵を行ったマサバの一部は相模湾～東京湾に来遊し、5月以降に本県沿岸で漁獲されます。1～5月に県漁業調査指導船「江の島丸」が伊豆諸島周辺で行った調査で尾叉長29～32cm（体重280～390g）主体に漁獲されたことや、現在、相模湾の定置網で同サイズが多く漁獲されていることから、今シーズンはこのサイズのマサバが多く来遊する見込みです。

神奈川県水産技術センター

〒238-0234 神奈川県三浦市三崎町城ヶ島養老子

電話 046-882-2313 ファックス 046-881-7903

公式ウェブサイト <http://www.pref.kanagawa.jp/div/1730/>